

## 議会広報委員会視察研修報告書

議会広報委員会では、平成 29 年 1 月 24 日から 25 日の 2 日間、静岡県富士宮市議会、沼津市議会を訪問し、議会だより編集等に関する調査をしてまいりました。参加者は、福田克之副委員長、大河原千晶委員、岡村浩雅委員、櫻井秀美委員、笹沼昭司委員、加藤朋子委員、渋井康男委員、事務局職員 2 名、そして私、委員長の石原孝明であります。

今回は委員の改選後、初めての調査でした。

両市ともに先進事例が盛り込まれており、市議会だよりのリニューアル、また動画配信の問題点について、有意義な調査を実施することができました。

詳細は以下のとおり。

### 「富士宮市にて」

富士宮市では、発刊 400 号節目に議会だよりの愛称を「笑顔のために」に決定、今まで職員がおこなっていた紙面作りを議員本人が執筆するようになり、写真、イラストも増え、発行日も早くなった。

特色として、項目ごとに左右見開きページで写真・イラスト・図解を多用し、常任委員会のコーナーでは委員長(委員会)のコメントを掲載している。

一般質問では質問者本人が議会最終日から 1 週間以内に原稿、写真・イラストのキャプションを提出をしている。(一般質問掲載は 1 ページ 2 名)

中でも注目すべき点は、電子書籍ポータルサイトによる閲覧を可能としている。

富士宮市での研修風景	愛称を変更・・・「笑顔のために」
	

また、目の不自由な方のために、会議録を録音した「声の議会だより」を作成、貸出している。

その他として、中学3年生が社会科(公民)の授業で一般質問の傍聴に来ている。

「声の議会だより」貸出し	地元中学生による議会傍聴
	

### 「沼津市にて」

沼津市では、1期目議員を中心に紙面リニューアルに向けた自主研究会を発足し、議会だより題字の公募、カラー化を実施した。

特色として、「ピックアップ議会」と題して市広報紙とは別の視点で市政のテーマになっている内容を左右見開きで大きく掲載している。

一般質問では質問者が掲載したい内容を1項目のみ選びタイトルとともに提出をしている。(一般質問掲載は1ページ4名)

沼津市での研修風景	「市議会だより」をリニューアル
	

中でも注目すべき点は、業者と共同開発した(会議録作成・検索システム及び本会議映像配信システム)の導入で本会議終了後は15分で文字化する。

**【議事録作成業務委託廃止・職員の時間外労働削減に寄与】**

ただし、映像配信システムに関しては閲覧数が増えるとダウンするのが今後の課題である。

また、富士宮市同様電子書籍ポータルサイトによる閲覧を可能としている。

その他としては、市のプロモーション活動に協力し、議会としてロゴマーク入りポロシャツを作成し本会議で着用している。

電子書籍による閲覧	市のプロモーション活動に協力
	

今回の研修を通して、両市ともに議会事務局の説明に加え、議員間の意見交換に多くの時間を使い、有意義な視察研修となった。

今後、視察先での研修内容を生かし、検討を図っていきたい。